

平成 30 年度市民活動感謝状の受賞者を紹介します。

学校法人川原学園 東京動物専門学校富里実習施設

活動経歴・内容 平成 29、30 年の産業まつり内のイベント「動物ふれあい広場」に動物や設備、スタッフを全て無償にて提供し、動物園と同等のショーが可能になり、市を PR するイベントを支援しました。



平成 30 年 5 月に行われた「ふれあいまつり」では、全面的な運営に協力し、専門性を生かしての参画や会場設営、大掛かりな催し物の提供により、市へ人を呼び込むことに貢献しました。

活動を始めたきっかけ 商工会などの知り合いから、動物専門学校で飼育している動物で何かできないかと話があり、富里を盛り上げ、明るくしたいと思い、市のイベントに動物やスタッフを提供するようになりました。

今後の抱負など 子どもたちの動物に対する理解を深めていきたいです。また、動物園など学生の就職先になるところから「こんな人材が欲しい」という要望にこたえるため、日々学生を指導しています。これからも引き続き、地域に貢献していきたいです。

山崎電設工業株式会社

活動経歴・内容 平成 28 年に市マスコットキャラクター「とみちゃん」の電飾像を市に寄贈しました。平成 29、30 年の「とみさと市民活動フェスタ」で、電飾機材の無償貸出をしました。平成 30 年 12 月には、新木戸大銀杏公園の「大銀杏イルミネーションイベント」へ全面協賛し、公園内のイルミネーション装飾を無償で提供しました。



活動を始めたきっかけ 東日本大震災の後、節電のため工事が中止になることがありました。その中で、被災された人々を見て、何かできることはないかと模索した結果、地域貢献として液状化で埋没してしまった電柱の建て直しを行いました。そのことがきっかけで、他市のイルミネーションのデザインなどを始め、富里市や他市町の地域に貢献する活動をしています。

今後の抱負など イルミネーションの装飾などは、多くの自治体に広がってきたと思います。現在、寄贈した「とみちゃん」の電飾像の 2 倍以上ある電飾像の制作を計画しているほか、富里市の名物である、馬や人参の電飾像も作りたいと思っています。今後も、地域性を活かし富里のために地域貢献していきたいです。

とみさとプラザ

寄贈 地域の防犯活動ために 青色回転灯装着車両（青パト）が寄贈されました

4 月 19 日、保健センター（すこやかセンター）前駐車場にて、創立 50 周年記念事業として、株式会社ナリコーから市へ青色回転灯装着車両の寄贈式が行われました。

寄贈された青パトは、市防犯指導員連合会や自主防犯パトロール隊により、地域の防犯活動に広く活用していきます。

また、コミュニティ活動で使用する、食器も寄贈されました。



農業 地域活動のために 富里市鳥獣被害対策実施隊発足

市では、年々増加する有害鳥獣（イノシシ、アライグマ、ハクビシン、カラスなど）による農作物被害を防止するため、富里市鳥獣被害対策実施隊を設置し、4 月 11 日に各隊員に委嘱状を交付し、発足式を行いました。



実施隊のメンバーは、猟友会、わな猟免許を所持する地元農業者で構成され、捕獲・防除・生息環境管理など、総合的に鳥獣害対策に取り組んでいます。

また、発足式に先立ち、富里市農業協同組合から小型箱わな 50 基、電気柵一式（550 m）、実施隊の活動拠点となるユニットハウス 1 棟が寄贈されました。



▲ J A 富里市の根本組合長から目録が贈呈されました。

観光 岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会実施事業 富里市モニターツアーを実施



富里市、高知県安芸市、岩手県雫石町、東京都台東区で連携し、平成 30 年度に設立した「岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会」では、平成 30 年度事業の一つとして、3 月 5 日に富里市モニターツアーを実施しました。

当日は、都内を中心とした 13 人の参加者が、旧岩崎家末廣別邸、富里の食材を提供するレストラン（クッチーナ・トキオネーゼ・コジマ）、富里牧羊場跡、香取神社、J A 富里市産直センターなどを巡りました。このツアーで初めて富里市を訪れる人が多く、未公開の文化財や地場産の新鮮な野菜への関心が高く、今後の旅行商品開発につながるツアーとなりました。